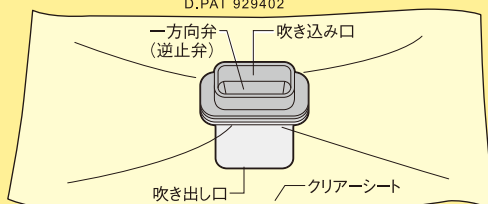


蘇生用マウスピース

RESACO[®] レサコ・R
レサコ・GPAT 3860772
D.PAT 929402

- 「口対口人工呼吸」を行うとき、本品を使用すると救助者の口が直接傷病者の口に触れません。
- 本品は1回限りの使い捨てです。
- 本品は感染を完全に防ぐものではありません。
- 本品は訓練用的人形にも使用することができます。
(訓練用的人形には、一部本品が使用できないものもあります。)

製造元 **株式会社 センジヨー**大阪市旭区大宮5丁目6番12号 〒535-0002
TEL.06-6953-2341 FAX.06-6954-0080**RESACOの使用方法**

※本品は、「心肺蘇生法」を行うときに使用しますので、心肺蘇生法について理解されていることを前提とします。

- ① 傷病者の口を開けます。(図-1)



図-1 指交差法による開口

- ② 傷病者の口の中に、本品の吹き出し口(長い方)を、クリアシートの面まで挿入します。(図-2)

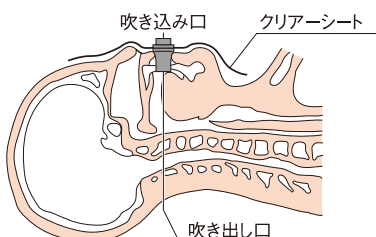


図-2 本品を挿入

- ③ 「頭部後屈あご先挙上法」により傷病者の気道を確保し、前頭部においた手の親指と人差し指で鼻翼をつまみます。救助者は、息を吸った後、口を大きく開き、傷病者の口全体を覆って、空気を静かに傷病者の口の中へ吹き込みます。(図-3、図-4)

図-3 親指と人差し指で鼻翼をつまみます

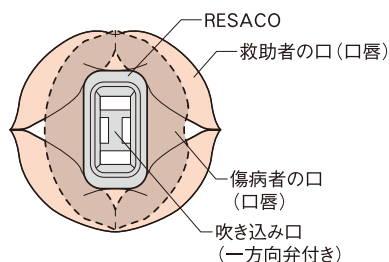


図-4 口(口唇)のあて方

●**ご注意**●

「口対口人工呼吸」がうまく出来ない場合は、以下の原因が考えられます。

- ㊐ 気道の確保が出来ていない。
- ㊑ 鼻翼のつまみ方が不十分。
- ㊒ 救助者の口の開け方が不十分。
- ㊓ 傷病者の口全体を覆っていない。

心肺蘇生の手順